

令和5年度 シュウエール宮前区平第2 自己評価表

討議年月日: 令和5年7月27日

公表年月日: 令和5年7月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13		3	・バニック等、個別支援の必要な時や学習の時に2階の部屋を活用できている。 ・児童の人数に応じて、教室を分けて活動を行うことがある。 ・物理的に空間を広げられないので、利用人数が増えると職員数も増え、圧迫感を感じる。 ・人数が増えると狭い。
	2	職員の配置数は適切であるか	15		1	・十分である。 ・職員のスキルも考慮しながら配置を行っている。 ・利用者の数に対して職員が多い時、少ない時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	12	・入ってはいけない場所をわかりやすく区切り、危険のないように工夫している。 ・玄関外に外灯が取り付けられ、足元の危険がなくなった。 ・手すりがある程度で、段差は多い。 ・児童の身長に対して、椅子や机が高すぎる。 ・元々バリアフリーを意識した設計にはなっていない。 ・階段がある。・スロープ等はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	14	1	1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	14	1	1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	1	7	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		3	・毎月研修を行っている。 ・研修テストの実施がある。 ・行っているが、レポート提出等はないので、落とし込めているかは不明である。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	16			・管理者が代わってから適正にできていると思う。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	13	1	2	・HUGを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15		1	・月に活動内容のテーマを相談して決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16			・月に活動内容のテーマを決めている。 ・全体活動の週目標は同じでも、活動内容は毎日異なる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	15		1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	16			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	16			・毎日実施している。 ・学習と送迎に関して丁寧に確認している。 ・個別で引継ぎができるようにもしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	16			・毎日実施している。 ・行っているが、ブラッシュアップできる点は多々ある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	16			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	16			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	16				
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12	1	3	・未だ機会はないが、必要に応じて参加する。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	15		1	・保護者を通しての情報共有がメインになっており、直接の連絡はあまりない。 ・緊急時の対応は行っている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10	1	5	・該当者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか	11		5	・保護者を通しての情報共有がメインになっており、直接の連絡はあまりない。 ・機会は多くないが、必要に応じて行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	1	4	・該当者がいない。 ・今のところ機会は少ないが、必要に応じて行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1	6	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	1	10	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	12	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	16			・送りの際、必ず伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	1	5	・不十分である。 ・ペアレント・トレーニングの実施はないが、保護者からの相談等に対しての助言は適宜行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16			・児発管が行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	16			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	11	・参観期間を設けることはあるが、保護者間の連携の支援は不十分である。 ・参観期間を作り、保護者同士が顔を合わせられる機会を設けた。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1	3	・会報等はないが、必要に応じたプリントの発行等はある。 ・イベントなどのお知らせをしっかりと発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	16			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16			・HUG、SMS、メール、電話など、保護者が使いやすいツールを使用してもらっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	13	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14		2	・保護者への周知は不十分である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	16			・年に2回、防災訓練を1週間通して行っている。 ・防災訓練で職員の役割もしっかり確認している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15		1	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	15		1	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15		1	・おやつは特に注意している。 ・おやつ提供時に配慮している。 ・保護者と連絡を取りながら対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	16			